

宝の地図を作ろう

水産土木工学部

研究の背景・目的

例えば、家のそばでマツタケが生える場所を知っていたとします。そことよく似た地形や土壌を持つ場所を日本全国から選び出して地図にできたら、どんなに素晴らしいでしょう？

私たちは、地形と二枚貝の分布パターンに関する限られた手掛かりを使って、湖の全体や、川の全体や、全国の砂浜から、二枚貝がたくさんいそうな場所を予想して、「宝の地図」を作ろうとしています。

研究成果

1. 茨城県涸沼と大阪府淀川の浅場で、しじみの稚貝が生息しやすい水底地形を持つ場所を推定して地図にしました。
2. 東日本太平洋側の海岸で、外海性のはまぐりが生息しやすい地形を持つ場所を推定して地図にしました。

波及効果

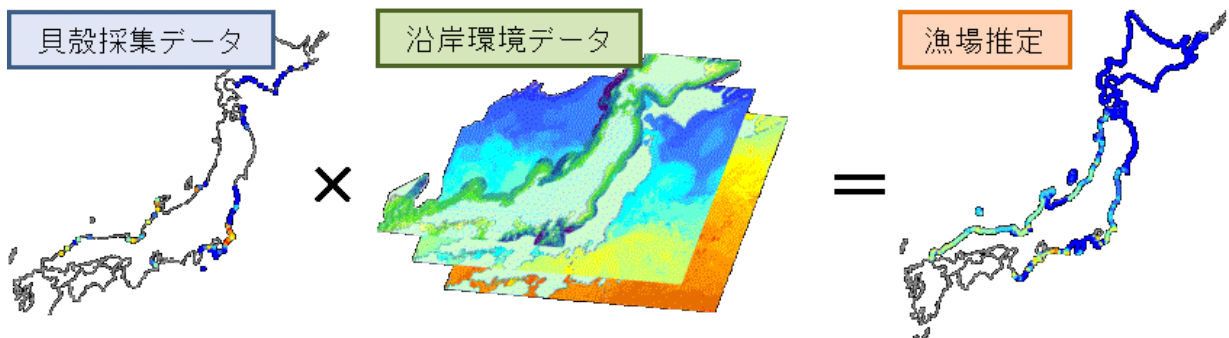
1. 二枚貝の生息地や漁場として、保全しないといけない場所を選びやすくなります。
2. 二枚貝と環境との関係が分かってくるほど、「宝の地図」も正確になります。



貝殻だっただいじな
手がかりです。

1453	1307	キサゴ			Chlamys
1454	1307	キサゴ			Chlamys
1455	1268	エゾタマキガイ			Saxidomus
1456	1268	ホタテガイ			Patinopecten
1457	1271	ナメシコガイ	12003	下北砂丘	Chlamys
11458	1271	タマエガイ	12003	下北砂丘	Musculus
11459	1271	イガイ属	12003	下北砂丘	Mytilus





(生物環境グループ: 齊藤 肇)